

式 辞

若葉が芽吹き、すがすがしくやわらいだ、春の日差しの中、若い命が躍動する希望あふれる季節がめぐってまいりました。

令和二年度の埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校入学式は、新型コロナウイルスの影響で、例年とは異なり、新入生と本校教職員だけの簡素な形での実施となりましたが、この春のよき日に、新入生を迎えられることは、私たち教職員一同の大きな喜びとするところであります。

ただ今、入学を許可いたしました百九十八名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。教職員、在校生を代表して、皆さんの入学を、心から歓迎いたします。本来であれば、本日ここに列席し、お子様の姿をご覧になるはずだった保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりのお祝いを申し上げます。

本校は埼玉県立鶴ヶ島高等学校と埼玉県立毛呂山高等学校との統合により、単位制普通科の鶴ヶ島清風高等学校として新たにスタートして、十三年目を迎えたところです。鶴ヶ島清風高校生として第十三期生となる皆さんには、本校の校訓である「飛翔」「礼節」「調和」のように、高校生としての礼儀を重んじ、常に思いやりを持って周りの友人たちと接して、将来大きく羽ばたけるような高い目標を持ってこれからの高校生活を送って欲しいと願っています。

さて、皆さんが高校生活を始めようとしている今、世界は新型コロナウイルスの影響により、私たちがかつて経験したことのない危機的な状況を迎えています。ウイルスの猛威の前では、人間はなすすべがないのが現状です。しかし、人類は必ずこのウイルスに打ち勝ち、近い将来には安心して生活できるようになるはずでです。

このような状況の中、入学する皆さんに、心に留めていただきたい言葉を、一つだけ贈ります。それは、菜根譚の中にある「伏すこと久しきは、飛ぶこと必ず高し」という言葉ですこの言葉の意味は「長い間地上で力を蓄えていた鳥は、一旦飛び立てば、必ず他のどの鳥よりも高く舞い上がることができる」という意味です。先日まで満開に咲いていた桜も、長く厳しい冬の間に、地中深く張った根からしっかりと養分を蓄えていたからこそ、春になって美しい花を咲かせることができたのです。

高校生活の間は、まさに、将来満開の花を咲かせるための準備期間です。今は厳しい状況の中、我慢しなければならぬこともあるかもしれませんが、しかし、こんな状況の中だからこそ、我慢すべきことは我慢して、地道に努力を重ねれば、将来必ず大空高く舞い上がることができるはずでです。

そのために、これからの高校生活で、しっかりと自分自身の目標を定めて、その目標の実現に向かって挑戦してください。そして、目標を定めたら、決して諦めることなく、目標が実現できるまで続けることが重要です。途中で諦めてしまうから失敗なのであって、何事も成功するまで諦めずに続ければ、目標は必ず達成することができます。

人間の能力は、決められた価値基準では計ることができないものであり、一人一人に潜在的な能力があります。特に、高校生の皆さんは、誰でも潜在的に多様な能力を秘めています。自分自身を信じて、成功するまで粘り強く、挑戦を続けてください。それにより、百九十八名の皆さん一人一人の高校生活が充実した輝かしいものになることを大いに期待しています。

そして、私たち教職員一同は、そんな皆さんを手助けしつつ、共に学ぶ存在でありたいと思っています。

結びに、希望あふれる新入生の皆さんの前途を祝すとともに、明日からの高校生活が皆さんにとって輝かしいものとなることを願って、式辞といたします。

令和二年四月八日

埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校長 金子 典之